

ミャンマー（マンダレー市）の現地調査記録

タイ商工会議所大学のコーディネートののもとに、ミャンマー中部の交通の要衝であるマンダレー市およびザガイン市において現地企業家および現地証拠会議所を訪問し、インタビュー調査を行った。

ホテルおよび農産品メーカー：2018年2月26日実施

亡き夫の宝飾関係小規模ビジネスを発展させ、ホテルおよびマンゴを主体とした高級青果を海外輸出するまでの企業に成長させた女性経営者。特にマンゴ輸出については品質向上のための技術向上、輸出マーケティング拡大のために地元と同業者のための協会を設立し、地域の産業発展に大きな貢献を行っている。

金属宝飾品およびホテル：2018年2月26日実施

家族ビジネスの金属宝飾からホテル経営に展開した家族経営者。姉弟で経営を行っている。ホテル業には経済発展に伴ってバックパッカーなどの低価格ホテルを求める観光客が増加していること、および地方からマンダレーの大病院に入院する患者に付き添う家族の宿泊需要が拡大していることなどから参入したもの。更なるサービス向上と付加価値のあるグレードのより高いホテル経営を目指して、「家族的経営」からビジネススクールの知識を活かした「近代的経営管理」に移行を図っている。弟経営者は仕事の合間にタイ商工会議所大学がマンダレー商工会議所事務所内に開講している経営者向けのビジネススクールに通っている。

建設資材商社経営者：2018年2月27日実施

経済発展に伴いザガイン市からマンダレー市に移住し、家族経営の小規模レストランおよびホテル業から建設資材取引業に転身した経営者。大学卒業後、地元のメーカーに勤務しその時に培った知識・経験・人脈を活用し、事業を発展させてきた。日本企業との取引もある。地元経済界には大きな貢献をしており、マンダレー商工会議所にタイ商工会議所大学のビジネススクール講座を開講させた立役者である。マンダレーは内陸都市であり、今後の発展には陸上交通ネットワークの整備とITソフトウェアなどの情報産業の誘

致が重要になると考えている。なお、有数のIT大国である隣国、インドに近いこともチャンスになるとの認識を持っている。

マンドレー商工会議所：2018年2月28日実施

マンドレー商工会議所においては加盟している中小企業経営者に参集してもらい会頭および事務局長のもと参加した経営者に「現在の経営上の問題点」を挙げてもらった。それによると以下の指摘が多かった。

- (1)資金調達の制約が大きい。スタートアップや中小企業には有利な条件で融資する金融機関が少ない。この結果、家族や友人からの調達や高利での調達になってしまい、新しいビジネスの成長を阻んでいる。
- (2)品質向上やブランド力向上のためのノウハウ獲得の機会が少ない。
- (3)ビジネスチャンスが大きい海外市場の調査をするには経営資源が不足している。
- (4)日本の地域商工会議所との交流を通じて情報交換やノウハウの学習を目指してゆきたい。